

提 案 の 概 要

施設名：八事福祉会館

団体名：名古屋市昭和区社会福祉協議会

1 福祉会館業務

(1) 管理運営全般について

① 施設管理運営の基本方針等

理 念

- 高齢者が健康で元気に生きがいを持って日常生活を送ることができるよう支援します。
- 高齢者の持つ力を地域社会で発揮できるよう積極的に支援します。
- 地域福祉の拠点施設を目指します。
- 全ての利用者の皆さんに平等に接します。

基本方針

- 高齢者が地域社会に貢献できるよう支援します。
- 講座・同好会の支援を通じて、人々が交流する地域の福祉拠点を目指します。
- 地域の身近な相談窓口を目指します。
- 利用者の立場に立った施設の管理・運営を行います。
- 利用者の皆さんに職員から積極的に声掛けをします。
- 対応は、「感謝の気持ちを持って」「笑顔で明るい接遇」に努めます。
- 職員間の情報の共有と積極的な研修参加により迅速かつ的確な対応ができる体制を目指します。
- 利用者の皆さんに気持ちよく利用していただける施設を目指します。

② 管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

職員配置の考え方

- 館長には、施設管理等の実務経験とサービス水準の維持・向上に意欲があり、苦情等に対する迅速な対応と職員への的確な指揮監督力を持つ者を配置します。
- 原則として、館の運営の経験を積んだ、男女2名以上の職員を配置します。
- 新規採用職員は、ビジネススキル、現場で必要となる知識を兼ね備えた職員を配置します。

館 長

(館の統括)

事務職員(事務・外部との調整)

健康支援スタッフ(看護・衛生指導)

生きがい支援スタッフ(事業企画)

人材確保・育成

- スケールメリットを活かし、広く人材募集を行い一括採用および研修を行うことで社会福祉事業経験者等業務に精通した多様な人材を雇用し、専門性を活かした事業運営をします。
- 区・市社会福祉協議会と協力しての職員研修及び連絡会、他区（館）との合同研修や情報交換を行い、専門性を向上させ質の高いサービスを目指します。
- 社会福祉協議会が実施する研修を受講し、館の職員として必要なスキルを身につけます。

(2) 事業運営の実施計画について

①生活相談及び健康相談

生活 相談

- 広報なごや、会館だより、ホームページ等で広く一般に周知します。
- 区役所、いきいき支援センター等福祉関係機関との連携を強化し適切な対応をとります。

健康 相談

- 広く市民に呼びかけ、嘱託医による健康相談を実施します。
- 嘱託医による健康講話及び健康に関する講演会を実施します。

②教養の向上及びレクリエーション等に関する事業

講 座 等

- 利用者のニーズに合った講座を開設します。
 - 講座種別・内容等は、施設の現状・利用者の要望等を踏まえた新規講座を開設します。
- オープン講座の開設
 - 社会性・話題性に富んだ内容や健康関連テーマの講座へ自由に参加していただきます。

同 好 会

- 同好会や講座の会員のボランティア活動を支援します。
 - 社会福祉協議会等と連携してボランティア活動を支援します。
- 同好会の自主的な活動を支援します。
 - 発表会等自主的な活動が活発になるよう支援するとともに、主な活動の場である多目的室・集会室の効率的な運用を図り利用者数増に努めます。

行 事 等

- 「福祉会館まつり」を開催し、講座や同好会の活性化と参加者の交流を深めます。
- 高齢者でも無理なくできる「輪投げ大会」を開催し、楽しみながら交流を図ります。
- 囲碁が盛んな当館の特性を生かし、「囲碁大会」を開催し、交流・ふれあいを図ります。
 - 年3回開催（春季囲碁大会・秋季囲碁大会・新春トーナメント囲碁大会）します。

③機能回復訓練の実施

福祉会館で行うあらゆる講座等に介護予防、認知症予防の視点を取り入れ、利用者が少しでも元気な暮らしができるよう支援します。

- 嘱託医師や健康支援スタッフによる健康相談、介護施設等の関係者による介護相談の実施並びに健康・介護器具の展示会と「健康講演会」を開催します。
- 理学療法士等を講師とした、機能回復と介護予防を目的とする「リハビリ講座」等を実施します。
 - リハビリ体操、健康体操、太極拳、ヨガ
- 認知症予防事業、地域ぐるみの介護予防の充実を目指します。
 - 回想法教室、懐かし映画会、音楽会、地域サロンでの出張回想法教室の実施
- 要支援・要支援者になる恐れのある高齢者に対し、リハビリ体操等のオープン講座を開催します。

④その他事業

- 高齢者の孤立化防止や介護予防に取り組むため、高齢者サロンを開設します。
- 高齢者給食会や老人クラブ、関係機関への場所提供等を行います。
- 囲碁が盛んな当館が中心になって、児童館・大学等に呼びかけ、世代間交流囲碁大会を実施します。
- 他の区社会福祉協議会の福祉会館との一体的な取り組みとして「福祉会館めぐり（仮称）」（高齢者の外出増や介護予防を兼ねた福祉会館を知っていただく取り組み）を実施します。
- ボランティアによる、電話相談事業を実施します。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

○ 人件費

安心・安全かつ安定的な施設運営と、福社会館の設置目的の達成のためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせません。本会では、このような視点から、豊富な実務経験や必要な資格を持つ専門職を安定的に確保するのに必要な人件費について、限られた予算の中、経営の効率性を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。

○ 物件費

各費目ごとに前指定管理期間の執行実績を基に必要額を積算していますが、事業謝金については、健康づくり・介護予防等のオープン講座及び年間講座開設のための予算を増やしました。

事業謝金等 → オープン講座（年 5 回分増）及び新規講座開設（1～2 講座）予定分として執行実績額より 240 千円増額。

○ 小規模修繕費

建物維持管理、補修・設備更新・保守点検結果等を踏まえ、前指定管理期間に執行した修繕費を基に必要と思われる額を積算しました。

○ 収支予算

(単位：千円)

	平成 28 年度	内 訳
人件費	23,081	給料・諸手当・法定福利費・福利厚生費
物件費	13,045	事業講師等謝金・消耗品費・印刷製本費・光熱水費・通信費・施設保守、業務委託費等
小規模修繕費	1,470	
合計	37,596	